



～地域での支え合いの仕組みづくり

(生活支援体制整備事業) がはじまっています～

生活支援コーディネーター

私たちが生活支援コーディネーターです!

地域通信第7号

令和6年12月発行



社協・川辺



包括・岸田



包括・平山

生活支援コーディネーターは、“支え合いの輪”を作る繋ぎ役と同時に、地域内で行われている活動の情報発信をする!といった役割も担っています。今回は「世代間交流」について情報発信したいと思います。

### 世代間交流とは?

少子高齢化、核家族化が進み、家庭内で高齢者と子どもが関わる機会が減少する中、地域において世代を超えたつながりや相互理解を深めることを目的とした活動です。高齢者が子どもに昔遊びを教えたり、子どもが高齢者に合唱や演劇を披露したりして、世代を超えて交流を深めます。

## 世代間交流



#### ■高齢者への3つのメリット■

- ・子どもの面倒を見ることで生きがいを感じる。
- ・子どもに持っている知識を伝えることで新しい役割を見つける。
- ・脳の活性化につながる。



#### ■子どもへの3つのメリット■

- ・高齢者から知識を学べる。
- ・礼儀と節度を学べる。
- ・いたわりの心が生まれる。

例えば、こんな世代間交流をしています。

- ・季節イベント (夏祭り・ハロウィン等)
- ・地域内行事 (敬老会・地域支援ネットワーク行事等)
- ・地域内サロン等



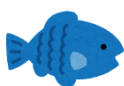
具体的な取り組みを次のページで紹介します→

## 坂元下郷地区

「坂元下郷地区」では、夏休みを利用して「川学校」が開催されています。今年で10年目、坂元川の大川で、大川スマイルクラブの会員と地域住民が協働し、川の生き物教室を行っています。河川敷の草刈り清掃、川の整地、ニジマス放流が行われ、子どもたちは初めての「魚のつかみ取り」に歓喜の声をあげながら挑戦しました。



「魚のさばき方」を地域の大人たちから習うことで、命の大切さを学んだり、自分でさばいた魚を味わうことで、残さず食べることが出来たり。子どもたちにはとても貴重な経験です。また、「川の生き物調べ」では高齢者と子どもたちが一緒に調べるなど楽しい交流が行われました。



## つばめの杜西地区

世代間交流として大人気の「ハロウィン」イベントが行われました。つばめの杜西地区「ときわ会」が全面協力。衣装を着た子ども達が西地区の高齢者宅を回り、お菓子をもらいました。



つばめの杜西地区は高齢者・人暮らしの方が多く、中には日頃、子どもたちと交流する機会が少ない方もいます。しかしこのイベント時には、高齢者自ら衣装を着て、手品・お手玉・あやとりなど昔遊びを子供たちと交流することで、顔見知りとなるきっかけづくりの良いイベントになっています。



地域包括支援センター  
電話 0223-37-1171



社会福祉協議会  
電話 0223-37-2785

